



2016年9月29日

アウディ ジャパン株式会社
プレス問い合わせ 03-5475-6309
<http://audi-press.jp/>

お客様問い合わせ 0120-598106
アウディ コミュニケーションセンター

パリモーターショー2016

Audi RS 3 Sedan - コンパクトセグメント最速

- 294kW (400hp)、480Nm を発揮するオールアルミ製 2.5 TFSI エンジンを搭載
- Audi A3 に対してトレッドを拡大し、RS 専用のデザインを採用

2016年9月29日、インゴルシュタット/パリ

アウディは今年のパリ モーターショーで、A3 シリーズの中で最もダイナミックなモデル、Audi RS 3 Sedan を初公開します。400hp を発生する 5 気筒エンジンを搭載し、非常に優れた燃費と、よりシャープなスタイルを備えたこのモデルは、RS シリーズとして販売される初のコンパクトセダンです。

新しい 2.5 TFSI エンジンは、従来型よりも 33hp 強力な 294kW (400hp) の最高出力を発生します。これは、現在世界で市販されている 5 気筒エンジンのなかで、もっともパワフルな値です。480Nm の最大トルクは、1,700~5,850rpm の非常に幅広い回転域で発生します。このコンパクトな RS モデルは、0-100km/h をわずか 4.1 秒で加速します。最高速度は、電子リミッターによって 250km/h に制限されていますが、お客様が希望すれば 280km/h に引き上げることも可能です。5 気筒ユニット特有のサウンドは、エモーショナルなドライブ体験をさらに高めるでしょう。このサウンドは、隣り合うシリンダーと離れたシリンダーを交互に点火する設計により、さらに際立ったものになっています。そのボリウムと音質は、アウディ ドライブセレクトによって調整することができます。

軽合金製のクランクケースを採用したことで、エンジン重量は従来の 5 気筒エンジンより 26kg 軽量化。このエンジンは、インテーク マニホールドと燃焼室の両方にガソリンを噴射するデュアルインジェクションと、排気バルブのタイミングを可変制御するアウディバルブリフトを採用しています。その結果、燃料消費量を削減しながらも、出力性能を最適化することに成功しています。

卓越したスポーツ性能、トラクション、ドライビングセーフティ

2.5 TFSI の強力なパワーは、素早いギヤチェンジを特徴とする S トロニック 7 速デュアルクラッチトランスミッションを介して、quattro フルタイム四輪駆動システムに伝達されます。駆動トルクは、電子油圧制御式の多板クラッチによって、前後のアクセルに可変配分されます。インテリジェントな電子制御機構により、優れた走行安定性とドライビングプレジャーを巧みに融合しています。スポーティなドライビングでは、より多くのトルクが後輪へと配分されます。その結果、非常に敏捷なハンドリング特性が実現しています。

quattro システムの制御プログラムは、ステアリング、S トロニック、エンジン制御、調整可能エグゾーストフラップなどのプログラムと同様、アウディ ドライブセレクト ダイナミックハンドリング システムに統合されています。ドライバーは、アウディ ドライブセレクトに設定されている、comfort、auto、dynamic の 3 つのモードから選択することで、これらのコンポーネントの働きを調整することができます。同様に、オプション設定されるアダプティブダンパーコントロール機能を備えた RS スポーツサスペンションプラスも、アウディ ドライブセレクトを介して変更することができます。

四輪駆動システムの働きは、エレクトロニック スタビライゼーション コントロール (ESC) のインテリジェントなソフトウェア機能のひとつである、ホイール セレクティブ トルク コントロールによってサポートされています。このシステムは、高速コーナリング中に、相対的に負荷が小さい内側のホイールに軽くブレーキをかけることで、クルマの旋回能力を向上させ、ハンドリングをよりスムーズで安定したものにします。さらに、ESC システムには、RS モデル専用のスポーツモードが設定されており、一定の範囲内でのドリフトコントロールも可能になっています。サーキット走行といった特別なスポーツドライビングの際には、ESC のシステムそのものを完全に停止することも可能です。

プログレッシブ ステアリング、4 リンク式 リヤ サスペンション、標準モデルよりも車高を 25mm 下げたタイトなセッティングにより、RS 3 Sedan のシャシーは、パワフルなドライブシステムに完全にマッチしたものになっています。RS 3 Sedan は、これらのシステムによって、ストレートから素早くコーナーへ進入し、正確にラインをトレースすることが可能です。フロント ブレーキ ディスク径は 370mm、ライニング面積を広くとった 8 ピストンキャリパーとの組み合わせにより、優れた制動力を発揮します。フロント ブレーキについては、オプションでカーボン ファイバー セラミック製のディスクも設定されています。リヤ ブレーキ ディスク径は 310mm です。ホイール及びタイヤは、19 インチホイールと 235/35 タイヤの組み合わせが標準となります。フロントについては、255/30 タイヤがオプション設定されています。

RS 専用のエクステリア及びインテリア

RS 3 Sedan は、コンパクトセグメントのトップアスリートとして、視覚面でもスポーティなキャラクターを強調しています。立体感のあるハニカムグリルを備えたシングルフレームグリルの下部には、quattro のロゴが装着されています。グリルの下には、ボディの幅一杯に、左右のエアインレットを結ぶ形でブレードが装着され、エアインレットの部分でそのブレードが、ホイールアーチへのエアの流れを円滑にするための狭いファンネルを形成しています。ライトは、特徴的なグラフィックを備えた LED ヘッドライトが標準装備され、オプションでマトリクス LED ヘッドライトも選択することができます。

ノーマルの Audi A3 と比較すると、RS 3 Sedan のフロントトレッドは 20mm 広くなっており、それに伴って、フロントホイールアーチが外側に張り出しています。また、リヤトレッドも、標準モデルに対して 14mm 広げられています。

ラゲージ コンパートメント リッドに固定されたスポイラーリップは、走行中のエアフローを向上させます。リヤビューでは、垂直のストラットを備えたディフューザー インサートと、RS エグゾースト システムの大きな楕円形テールパイプが大きな特徴となっています。ボディカラーは、RS 専用色のナルドグレーとカタルーニャレッドの 2 色が、オプションで追加設定されています。

ダークカラーでまとめられたインテリアは、ドアを開けると、RS 3 のロゴを備えた照明付きドアシルが、ドライバーとパッセンジャーを迎え入れます。標準仕様のスポーツシートには、上質なブラックのナッパレザーを使用し、バックレストの部分に RS ロゴが刻まれています。さらにオプションで、サイドサポート機能などを高めた、ヘッドレスト一体型の RS スポーツシートも選択することができます。このシートの場合も、ダイヤモンドパターンのステッチが採用されています。RS スポーツレザー ステアリングホイールは、ボトム部分がフラットなデザインになっています。インストルメント パネルとドアトリムのインレイは、スポーティでエレガントなインテリアを演出しています。

感覚的に行える操作と高解像度のディスプレイ

Audi RS 3 Sedan は、人間工学に基づいたフラットな階層と巧みにリンクされたメニューにより、直観的に操作することが可能です。コントロールスイッチの中心的なエレメントは、センタートンネルのコンソール上に設置されたロータリー/プッシュボタンです。最上級のインフォテイメントシステムである

MMI タッチ付き MMI ナビゲーションプラスを選択すると、ターミナルにタッチパッドが追加され、画面のスクロール、ズーム、文字入力などが行えるようになります。さらに、フリーテキストサーチ機能も備えることで、最初の数文字を入力するだけで、様々な情報についての検索結果が表示されます。ボイスコントロールシステムも、日常的な言葉遣いによるコマンドや質問を聞き取ることが可能です。

標準の MMI スクリーンは、電動格納タイプの 7 インチタイプとなります。インストルメントクラスターの 2 つのメーターは、ブラックのベースに、赤い指針と白いスケールが採用されています。中央に配置されたドライバーインフォメーションシステムには、ブースト計、油温計、ラップタイマーが追加されています。その他、フルデジタルのオーディオ バーチャル コクピットもオプション設定されています。高解像度を誇るその 12.3 インチモニターの画面は、3 つのディスプレイモードから選択することができます。そのうち RS モデル専用設定された基本画面では、中央にレブカウンターが大きく映し出され、その両側に、タイヤ空気圧、トルク、G フォースなどの情報が表示されます。トランスミッションをマニュアルモードで操作している場合には、カラーのバックグラウンドを備えたメーターが表示され、エンジン回転数がレブリミットに近付いている場合には、ステアリングホイールのシフトパドルかセクターレバーを使ってシフトアップするよう、ドライバーに促します。

Audi connect 及びオーディオスマートフォンインターフェイスにより常にオンラインの状態に

Audi RS 3 Sedan は、LTE モジュールによって常にインターネットとオンラインの状態を保つことができます。それにより、Google Earth や Google Street View を利用したナビゲーション、ガソリン価格、天気、旅行、交通状況に関する情報など、Audi connect の様々なサービスを利用することができます。このような情報は、直接 MMI スクリーン上に表示され、その操作は標準装備される RS マルチファンクションステアリングホイールか、MMI のロータリー/プッシュボタン、もしくはボイスコントロールを使って行うことができます。データの送受信は、RS 3 Sedan にあらかじめ搭載された Audi connect SIM を介して行います。

最大で 3 年間無料のこの定額制サービスにより、お客様は、車両購入後すぐに Audi connect を利用することができます。このサービスは、他のヨーロッパ諸国でも使用できます。さらに、ナビゲーションシステムには Wi-Fi ホットスポットの機能が付属され、乗員は自身のスマートフォンやタブレットなどのモバイル機器を使って、ネットの閲覧や e メール送受信などを行うことが可能です。

その他にも、無料の Audi MMI コネクトアプリを使って、スマートフォンのカレンダーを MMI システムに送るといった様々な機能を楽しむことができます。Aupéo! や Napster のアプリをインストールすれば、膨大な数の楽曲やオーディオブックにアクセスすることも可能です。アプリを使用すれば、Google Maps、POI（施設/観光情報）、あるいは Travel サービスの情報などを、スマートフォンからクルマのナビゲーションシステムに転送することもできます。オーディオ スマートフォン インターフェイスにより、Apple CarPlay や Android Auto が車内でも利用できるようになりました。例えば、電話、ナビゲーション、ストリーミングサービスなどの特定のアプリは、直接 MMI スクリーンに呼び出すことが可能です。ドライバーは、MMI コントローラーやマルチファンクションステアリングホイールなど様々なコントロールを使って、それらのアプリを操作できるようになります。

インフォテインメントシステムには、新しい魅力的な機構も追加されています。そのひとつであるオーディオ ボックスは、Qi 規格に基づいたスマートフォンの非接触充電を可能にしている他、近接カップリングテクノロジーにより、ケーブルなどを使うことなく、スマートフォンを車載のアンテナに接続して受信能力を改善します。また、オーディオマニアのために用意された Bang & Olufsen サウンドシステムは、14 のスピーカーと 705 ワットのアンプにより、素晴らしい音響体験を提供します。

お客様を安全かつ快適に目的地に送り届けるための最新のアシスタンス システム

RS3 Sedan はまた、ドライバーアシスタンス システムの分野でも、クラストップレベルのクルマです。アシスタンスシステムにより、好みに応じた車間距離の維持、車線変更時のアシスト、走行中の車線の維持、追突の回避、歩行者との接触防止のアシストなどを行うことができます。

その中でも最新のシステムが、65km/h 以下で混雑したハイウェイなどを走っている場合にステアリング操作を部分的に引き受けてくれるトラフィック ジャム アシスト、緊急時に自動的に車両を停止させるエマージェンシーアシスト、そしてクロストラフィック アシスト リヤです。この機能は、駐車場からバックで退出するときなどに、後方の交通状況を監視するシステムです。

*本リリースは、ヨーロッパ仕様に基づく AUDI AG 配信資料の翻訳版です。